

しあわせ

2023年
1月1日発行
No.184



学習支援室

「きざはし」



教員OBや大学生等のボランティアの方々と一緒に予習・復習や宿題等の学習を行っています。



岐阜県社会福祉協議会に『子どもの居場所応援センター』が設置されました。それに伴い、学習支援室「きざはし」は、サポーター登録をし、お菓子や飲み物等を提供していただけることになりました。





新春のご挨拶

社会福祉法人 関ヶ原町社会福祉協議会
会長 三輪 均



新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、令和5年の輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃は、社会福祉協議会の事業推進に対しまして格別なるご理解とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

昨年も、引き続き新型コロナウイルスの感染拡大の波が何度も繰り返す1年となりましたが、前の2年間とは違い、外出や旅行等に対する規制は設けられなくなり、社会経済活動は動き出しました。しかし、その一方で福祉の分野では以前のような活動までの回復はなかなか難しい状態が続いています。感染をここまで気にしなくてもよい日々が早く訪れることを願うばかりです。

ところで、関ヶ原町社会福祉協議会では包括的な支援体制の整備による「地域共生社会」を目標として、令和3年3月に策定しました第5次関ヶ原町地域福祉活動計画「ふれあい福祉プラン」に沿って各事業を進めております。

今年度はコロナ禍においても、この目標に向けて一定の範囲の中でもできる活動を進めていくことに主眼を置いて、事業を実施させていただいています。4月の福祉推進員委嘱式及び連絡会を始め、同じく福祉推進員の皆様を対象とした研修会、地域の支え合いの推進や困りごとサポーターの養成を目的とした「支え合い講座」、災害に関心を持っていただき、何が必要かを学んでいただくための災害ボランティアコーディネーター講座等は参加者を募集し開催いたしました。そして、10月には3年ぶりに開催されました関ヶ原合戦まつりにおいて、ふくしフレンドパークを実施し、年齢や身体の不自由さに関係なく誰もが参加できるボッチャという競技を多くの方々に楽しく体験していただくことができました。

新型コロナウイルスの影響はまだ続いており、人が多く集まることを避けられる傾向はまだ多いと思われまます。しかし、そのような期間が長くなれば長くなるほど地域福祉の停滞・衰退を加速させてしまいます。十分な感染防止対策をとったうえで各種事業の推進を図ってまいります。

また、新たな支えあいのしくみづくりに向けて事業を進めるにあたっては、地域住民の抱える生活課題やニーズを把握しなければなりません。各自治会、民生委員・児童委員及び福祉推進員並びに各団体のボランティアの皆様の一層のご理解とご協力、ご支援を重ねてお願い申し上げます。

最後になりましたが、この新しい年が皆さまにとって幸多き一年となりますよう心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

関ヶ原町民生委員児童委員 委嘱状伝達式を開催しました

民生委員児童委員の一斉改選を迎え、12月1日社協センターに於いて、新任の7名を含む民生委員児童委員20名及び主任児童委員2名の方々に、西脇町長より委嘱状が渡されました。

地域に暮らす「身近な相談相手」として、地域住民からの生活上の困りごと、医療や介護、子育ての不安などの相談に応じるとともに、その課題が解決できるよう、必要な支援への「つなぎ役」として活動に取り組んでいただきます。

また同日、退任された7名の方々に大臣感謝状及び知事感謝状が贈られました。



日常生活自立支援事業

高齢者や障がい者の方で、例えば、“どんな福祉サービスがあって、その利用方法がわからない”、“毎日の暮らしに必要なお金の出し入れに困っている”、“大切な書類の保管場所を忘れてしまう”というような方はいませんか。日常生活自立支援事業は、こうした方々が、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、社会福祉協議会がお手伝いします。

どんな人が利用できるの？

認知症や知的障がい、精神障がいなどで、自分ひとりでは福祉サービスの利用契約等の判断をすることが不安な方や、日常生活に必要なお金の出し入れ・書類の管理などをするのに不安のある方です。

どんなお手伝いをしてくれるの？

福祉サービス利用援助

- 情報の提供や相談
- 利用申し込み手続き
- 苦情を解決するための手続き

福祉サービスを
安心してご利用
いただけるお手伝い

金銭管理サービス

- 預貯金の出し入れ
- 年金や福祉手当の受領手続き
- 公共料金の支払い手続き
- その他の金銭を要する手続き

金銭管理や
支払い手続きの代行

書類等預かりサービス

(銀行の貸金庫等でのお預かり)

- 年金証書
- 預貯金の通帳
- 保険証書、権利証、契約書など
- 実印、銀行印
- ※宝石や骨董品などはお預かりできません。

通帳・証書などの
紛失を防止

利用料金はいくら？

援助内容	利用料
・福祉サービス利用援助 ・金銭管理サービス	1時間あたり 1,000円 (1時間を超えると30分ごとに500円加算)
・書類等お預かりサービス	1ヶ月あたり 500円

相談窓口 関ヶ原町社会福祉協議会 (☎43-2943)

NO.
143

ボランティアセンターだより さわやか



● あしたば会、清掃活動を実施 ●

11月21日(月)、あしたば会のみなさんがさくらんぼの家周辺の清掃活動を行いました。施設周辺の草取りや笹尾山山頂まで広範囲にわたりゴミ拾いを行い、辺り一面はとてきれいになりました。また清掃活動後、さくらんぼの家の畑にほうれん草の種をまくため、畝を作る畑作業も行



▲集めたゴミはしっかりと分別しました

いました。
コロナ禍のため、利用者のみなさんと一緒に活動することはできませんでしたが、ガラス越しにみなさんと手を振り合うなど交流することができました。



▲おいしいほうれん草が出来るのが今から楽しみです

ボランティア担当より

未だ活動に制限はありますが、徐々にボランティア活動も再開されています。以前のように安心して活動に取り組める日がくることを願っています。

傾聴講座「聴く」ということ ～悲しみに心を傾ける～

12月14日(水)、社協センターにおいて、傾聴ボランティア「あのねの会」が社協と共催で傾聴講座を開催しました。

かけがえのない大切なひとを失ったときの悲しみは、ことばにできないほど苦しいものです。

この悲しみにどうやって寄り添えばいいのか、悲しみに心を傾けるとはどういうことなのかという、グリーフケアについて学ばれました。

受講者の感想をご紹介します。

「聴くことのむずかしさを感じていました。“追い越さない”がとてもいい勉強になりました。」
「“グリーフケア”は初めて聞く言葉で、傾聴活動の中で大切なことであることがわかりました。」
「人の話を聴くということはむずかしいと思う。追い越さないということがとても勉強になりました。“待つ”ということが大事なのだということがわかりました。」



「聴く」ことの大切さやむずかしさを学ばれた受講者のみなさんですが、身近な人のために、ご自分の活動のために、きっと、悲しみに寄り添う力を得られたことと思います。



講師
NPO法人いのちのケアネットワーク
代表理事 もりかわ 森川 和珠さん



福祉協力校だより

関ヶ原小学校



インスタントシニア体験

関ヶ原小学校4年生は、総合的な学習の時間に、「やさしい町 関ヶ原」というテーマで、関ヶ原町の福祉について学習をしています。

1学期には、社会福祉協議会の谷口さんを講師にお招きして、「福祉とは何か」という話をさせていただきました。また、関ヶ原ふれあいセンターの図書館の方に、福祉の本をたくさん紹介いただきました。

2学期には、インスタントシニア体験を行いました。おもりのついたサポーターやアイマスク、手袋などをつけて、階段の上り下りをしたり、新聞を読んだりしました。この活動を通して、高齢者の気持ちを考えたうえで、自分たちにできることは何かを考えていきました。



【児童の感想】

○高齢者体験をしたとき、目が見えなくて、新聞がよく読めませんでした。また、おもりを着けていると、首が痛かったです。高齢者の方の気持ちがよく分かりました。

○耳が聞こえにくいし、目は見えにくいので高齢者の方は、大変だなと思いました。階段もよく見えないので怖いし、転ぶと怖いのでひやひやしました。新聞もいつもより読みにくかったです。体験の後、わたしはすごく疲れたので、高齢者の方は、毎日このような生活をしていると思うとすごいなあと思いました。

○一番きつかったのは、階段を上るときです。背中が自然と丸くなり、少し歩いただけでも疲れしました。椅子などに座るとき、どうしても、「はあ〜。」と言ってしまいます。高齢者の人は、すぐに疲れやすいので、声をかけるのが大切だと思いました。

相談日 しあわせ相談センター

- 場所/国保関ヶ原診療所 北棟1階
- 時間/午後1時30分～午後4時
- ご相談は無料

	心配ごと相談 <small>※人権相談 合同開催</small>	弁護士相談 <small>弁護士 吉田和永 ※行政相談 合同開催</small>	結婚相談
1月	10日(火) 相談員 北村 稔 相談員 吉田植昭	21日(土) 相談員 安藤道子 相談員 不破英明	21日(土) 相談員 不破昭代 相談員 名賀石里子
2月	10日(金) 相談員 吉田植昭 相談員 山根とも子	18日(土) 相談員 北村 稔 相談員 不破英明	18日(土) 相談員 永井ツヤ 相談員 不破昭代

※弁護士相談は予約が必要です。
※都合により日程等を変更する場合がございます。ご了承ください。

善意のご寄附

10月16日から12月15日分まで(敬称略)

あしたば会……………二〇,〇〇〇円

匿名……………三〇,〇〇〇円

(さくらんぼの家へご寄附いただきました)

ありがとうございました。



お米の寄付にご協力いただき、ありがとうございました。

匿名 11名 915kg (30kg×25袋、15kg×11袋)

11月1日号の社協だよりでお米の寄付をお願いしたところ、たくさんの方々にご協力いただきました。ありがとうございました。ご提供いただいたお米は岐阜県社会福祉協議会が設置している「岐阜県子どもの居場所応援センター」へお届けしました。センターでは、岐阜県内の子ども食堂や学習支援等の活動に役立てられます。

※引き続き、お米の寄付を募集しておりますので、ご協力いただける方は社協までご連絡ください。(TEL 43-2943)

さくらんぼ通信

生活介護事業所 さくらんぼの家 TEL43-1525

10月28日(金)に利用者みなさんでコスモスを見に行きました。いつも施設から眺めているコスモス畑ですが、今年は5月に自分たちで種をまいたこともあり、「きれいに咲いてるかな」と興味津々でした。

その日は天気も良く、絶好の散策日和となりました。コスモス畑に入って、自分たちでまいたコスモスの列を見て、「咲いてるね」「よかった」と歓声をあげ、畑にある黄色とピンクのドアをくぐり、きれいに咲いているコスモスに感動したりと充実した散策となりました。



11月11日(金)、笹尾山の紅葉を見に行きました。普段、施設からみている紅葉の景色ですが、「近くに行くともっときれいな？」と胸を膨らませました。笹尾山に到着すると、オレンジ、緑、赤と鮮やかに彩られた紅葉に「きれいだね」と話したり、足元のどんぐりを拾ったりと体いっぱい自然を感じました。この日は気持ちよい秋晴れで爽やかな風に包まれながら穏やかな時間となりました。

